

住吉神社(祭礼の当番)実施要領

平成30年度の場合 ①春祭り…………… 5月5日
 ②秋祭り…………… 10月8日
 ③新嘗祭…………… 11月23日

1.宮司……………勝部神社宮本宮司
 2.巫女……………宮司が手配

	当 番	総 代	宮司巫女およびその他関連内容(備考)
事前準備	ツゲの採集 ◆御供(ごく)に巻き付ける縄の材料となるツゲを採集して陰干ししておく。(春/秋祭りのみ)・ 場所：栗東市出庭(別紙参照)・量：1束(直径10cm程度)・ <u>採集する時期：梅雨時期の大雨が来ない前に取る。採取して10日ほど陰干しする。</u> ◆このツゲの準備はその年の春当番と秋当番が協力し合って準備する。当番4軒で話し合う。 ◆年内に取ったツゲはその年の秋祭りと翌年の春祭りで使用する。したがって今年の春祭り分は昨年収穫乾燥したもので対応できる。 ◆しのべ竹(2本) ・場所…栗東野洲川運動公園グランド横 新幹線沿い ・サイズ…1尺5寸(1本)+2尺5寸(1本) <75cm:神事/100cm:お湯用> 春祭り 葉付き梅の枝30cm3本 秋祭り 枝付き枝豆30cm3本 新嘗祭 稲穂10本程度	御供(ごく) ◆白むしの発注(春/秋祭りのみ) ◆1ヶ月前に依頼。(丸善菓舗 ◆もち米(1升)+白米(1升)少し柔らかめ。◆引き取り予定時間(Pm6時30分頃 ◆ごくを作成する木製の器はワツカが固定するように祭礼の前日の朝に水に漬けておく。(器が水を含むと膨張して固定する)(春/秋祭りのみ) 神饌物 ◆神饌物の確認をしておく、焼き鯛は栗東スターで1ヶ月前に注文しておく。 ◆詳細については別紙<神饌物購入一覧表>参照の事。 ◆宮司/巫女の手代(¥3,000×2=紅白金封) 事前準備要。新嘗祭は宮司のみ	日程調整 ◆宮司,巫女へ祭典の日程・時刻確認と依頼 年度当初、年間祭礼の日程調整要 手土産持参 ◆各祭礼は事前に宮司に電話にて依頼。 H30年度 春祭り 5月5日 (宮司・巫女) 秋祭り 10月8日 (宮司・巫女) 新嘗祭 11月23日 (宮司)

	当番 午前8時集合	総代 午前8時集合	中老
平成30年度の場合 ①5/4 ②10/7 ③11/22 (前日)	洗米 ◆御銭米(洗米):1合弱準備 当日持参下さい ＜新嘗祭は総代が準備＞	設営 ◆幕張り ・本殿、脇宮、拝殿、手水舎、社務所 ◆提灯の設置・本殿(2)、拝殿(4)、鳥居前(2) 拝殿は最新の寄進者の名前が入った物 鳥居前は「東伊勢講」の名名前が入った物	中老 ◆みごくの作成(社務所にて) ・Pm6:00～ ・緒作りに時間がかかる。(事前に作成要) ①器の内側を水で濡らすと取出しや易い ②白蒸しは少し時間が経過してから器に入れると型崩れしない。 ③作成後、サランラップで包むと硬くならない。 ◎平成28年度より、御供(ごく)は業者発注し、当番業務から外し、「総代の指示の元、中老が作成する」と変更
	清掃関係 ◆前日準備で雑巾2枚・バケツ持参 ◆神社の清掃(Am8:00～) ○本殿・脇宮(それぞれの屋根、溝さらえ)、 ○弁財天、境内、手水舎、社務所等の清掃 ◆社務所テーブル出しと台ふき ◆神具、釜、マキ等の準備 ◆神饌具・皿・盃・ワラケ・湯飲み湯通し	◆賽銭箱の開封・会計担当 ◆白蒸し費用を担当総代に支払う。(領収書要)＜春/秋祭りのみ＞ ◆神饌物購入費用の立替払いの後処理要。 ◆宮司巫女用駐車場の農業組合長へ依頼 ◆児童公園へ宮司巫女来客用駐車場の明示	
	当番 ◆お湯奉納の準備(春/秋祭りのみ) ・かまど、薪 (釜は竜青会館入口の左の引戸に有り) ◆榊…………大1本、小15本程度 ・境内にある(少し白っぽくややピンクかった木肌:白いテープ巻き) ◆熊笹(2束)………祭礼当日に準備 (早く採ると枯れる)(佐野佐宅事前に依頼) ◆灯笼(本殿前の左右)のローソクと窓枠を準備する	御供(ごり) ◆白むしの引き取り(Pm6時30分頃) (春/秋祭りのみ)(丸善菓舗) 神饌物 ◆神饌物の購入⇒スーパー等で購入 ◆焼き鯛は栗東スターに、前日夕方にもらいに行く。腐らないよう保管する。 ◆詳細については別紙＜神饌物購入一覧表＞参照の事。 新嘗祭の御銭米(洗米)→総代が準備する	

	当 番	総 代
	当番（下記の①～④ および⑦） 総代も全体的に手伝う	
	午前8時集合	当番: 洗い米(御饌米)は1合弱当日ご持参ください。
	1 神饌物の盛りつけ 9:00～ 2 祭礼用具の準備及び神具の設置 椅子(4脚:宮司、巫女、来賓) 3 お湯の準備 8:30～ 手水舎からホースで給水(接続栓あり) 4 社務所のテーブル準備(お茶、徳利、猪口、皿、箸、茶碗、等) 5 祭礼10:00～ 手水舎→参拝者拝殿前整列→本殿前整列(右側:宮司、巫女、来賓) ①式典開式挨拶(注1) ②宮司の祝詞 ③お神楽奉納(巫女)(太鼓:宮司) ④玉串奉納案内(注2) (氏子総代、自治会長、農業組合長、神事、中老、知新連中、当番、一般参拝者) ⑤献湯式案内(注3) 当番一名は巫女さんの介添として付く(奉納時にお湯が沸騰するように調整する) ⑥式典終了の挨拶(注4) 6 宮司と総代は弁財天に詣る 7 神饌物を下げる 8 懇親会 11:00～12:00 ①式典参詣のお礼(総代長) ②献杯()・ ③歓談 9 後始末 12:00～13:00 徳利等は湯通ししておく	◆本殿内神饌物の飾付けは宮司が行う 総代関係口上例 注1 開式の挨拶 おはようございます。これより平成〇年度住吉神社の春祭りを挙行政致します。それでは、宮司様よろしくお願ひいたします。 注2 玉串奉納の案内 それでは、続きまして玉串の奉納を行います。 氏子総代長～… (複数人の場合、代表者が奉納し、他の者は下で待つ) 注3 献湯式の案内 続きまして献湯式を行います。巫女様よろしくお願ひします。 注4 式典終了の挨拶 これをもちまして、平成〇年度住吉神社春祭りの式典を終了します。 なお、社務所にて懇親の場を持ちますので、場所の移動をお願いします。 総代は弁財天の参拝へ行きますので神饌物を社務所まで下げていただきますようご協力よろしくお願ひします。
平成30年度の場合 ①5/5 ②10/8 ③11/23	ツゲの自生地 現場  野洲川堤  新幹線高架下で河川が通過しているところ  令和3年3月再々編集 佐野兼晴	